

# 脱原発・放射能汚染を考える

No.354

2026年1月1日

脱原発・放射能汚染を考える北摂の会  
west\_umi@khc.biglobe.ne.jp

## 福島第1原発事故から15年！まだ非常事態は継続中 老朽原発は即時廃炉！すべての原発を廃炉に！

2011年3月11日の福島第一原発の事故から15年、スリーマイル島事故から47年、チェルノブイリ事故から40年がたとうとしている。福島第1原発は津波によって、全電力喪失による炉心溶融事故と水素爆発を引き起こした。事故による放射線汚染によって多くの住民が避難を強いられ、多くの人は今なお帰還することが出来ていない。生活の場を奪われ、家庭と健康を奪われた住民に対して、政府は有効な施策をすることなく放置してきた。そして司法は住民の国家責任の追及を受け止めようとしていない。

東電と政府の事故究明と復旧作業は進んでおらず、今なお数千人が現場で作業を続けている。政府は汚染許容基準を大幅に緩め、汚染したままの現地に帰還を強要し「正常化」しようとしている。

岸田政権以降、政府は原発の縮小から再推進に切り替え、老朽原発をふくむ原発の再稼働、さらに新規原発の建設・稼働すら目論んでいる。

私たちは老朽炉の即時廃炉、全原発の停止と廃炉、放射能汚染からの避難の権利、そして自然エネルギーによる明るい社会をめざして闘っていきこう！

**2026年 本年もよろしく願っています**

## 2026/1/9 武器をイスラエルに送るな！ アメリカ領事館前抗議行動

10月からの「停戦」中にイスラエルはガザで300人以上の市民を殺し、停戦協定違反の攻撃を繰返している。また、食料や人道物資の搬入についても停戦合意を守らず、約束の半分しか搬入させていない。イスラエルは停戦協定を順守し、食料・物資の搬入を認め飢餓状態を解消すべきだ。ガザ全域からイスラエル軍は撤退し、ハマスとの協議に応じるべきである。米トランプ政権は「停戦」といいながら、イスラエルのジェノサイド攻撃を容認し、武器・弾薬を供給し続けている。米国は、イスラエルへの戦争援助を止めるべきである。

私たちは、イスラエルによる戦争再開にも、国連安保理2803決議にも反対だ。パレスチナ人と連帯し、パレスチナの民族自決の実現を要求する。1月9日には大阪の米領事館前に集まろう！



## 『脱原発・放射能汚染を考える』2025年後半の一覧（342号～353号）

- [342] 2025/7/5 東電に原発を運営する資格はない  
全国知事会アンケート：核のゴミ受け入れはゼロ  
沖縄慰霊の日・「平和の詩」／トランプ原爆発言  
6.15 祝園弾薬庫を考える住民ネットワーク報告  
イタリア PFAS 裁判で11人有罪、100億円の賠償
- [343] 2025/7/22 大飯原発停止・大阪高裁で第2審  
イスラエルの絶滅収容所／トランプの富裕層減税  
学術会議、内閣府が非公開で設立準備委員会  
高槻戦争展、堺の戦争展／参院選挙の結果
- [344] 2025/8/5 関電美浜敷地内に新原発建設  
ガザの飢餓、世界の援助人権団体が共同声明  
高槻と堺の戦争展／わだつみ会平和集会  
「さようなら原発 1000 人集会」案内／護国神社
- [345] 2025/8/20 美浜町が新原発建設調査を容認  
日本政府はパレスチナ国家の承認と全面撤退を  
わだつみ会平和集会・田村光彰さん講演  
子どもの学力大幅に低下、ゲームやスマホが影響
- [346] 2025/9/5 処理水放出2年、汚染土のばら撒き  
関西電力の原発不正マナーを徹底究明しよう  
「尹泰吉追悼の意義とその闘い」田村光彰  
「丸山眞男をひっぱたきたい 希望は、戦争」
- [347] 2025/9/21 「さようなら原発 1000 人集会」成功  
兵庫県庁2号館ヒューマンチェイン 知事は辞職を  
イスラエルはガザでのジェノサイドを止めろ  
小田実没後18年 『人間の国』はどこに？
- [348] 2025/10/4 「乾式貯蔵」で原発延命に NO を  
ガザは不屈だ！虐殺2年 10/7 集会  
「防衛力の抜本的強化に関する有識者会議」  
「真夜中のハンマー作戦」でのインテリジェンス活動  
「レプリュートドラゴン 25」と「オリエントシールド 25」
- [349] 2025/10/21 乾式貯蔵 NO! 全国集会 @ 高浜  
高市の悲願「スパイ防止法案」を許すな  
宝塚戦争展 (10/11-12) が成功  
長射程ミサイル反対祝園全国集会に2700人
- [350] 2025/11/5 全国集会 @ 高浜 (11/30) に参加を  
高市首相のトランプとの首脳外交  
再処理工場は完成させてはならない・集会宣言  
長射程ミサイル反対祝園全国集会の報告
- [351] 2025/11/18 花角知事は原発再稼働をするな  
日本経済を戦争準備に変える高市政権を許すな  
旧統一教会問題、自民党の責任を放置するな  
賃金の大幅上昇と格差是正／労働災害の増加
- [352] 2025/12/5 花角知事は再稼働同意を撤回せよ  
全国集会 @ 高浜 (11/30) は400人の参加で成功  
高市首相は「存立危機事態」発言を撤回せよ  
軍事費拡大前倒し／安保関連3法案の改定
- [353] 2025/12/15 高市政権は原発推進を止めろ  
乾式貯蔵施設は土砂崩れ、積雪に持たない  
再処理工場は完成もしないし、稼働もしない  
山上・安倍射殺事件裁判と旧統一教会問題

# 12月24日『原発賠償関西訴訟』ついに結審！ 未来を問われる裁判！人の命と健康を最優先にした判決を

## 12年間72世帯220人の闘い

福島原発事故で、関西に避難した79世帯222人が国と東電に損害賠償を求めた「関西訴訟」が12月24日に大阪地裁で結審。2年以上にわたり全所帯が意見陳述を行い、結審では原告代表の森松さんが「未来を問われる裁判、命と健康を最優先した判決を、国の責任を明確に」と最終陳述した。

## 法廷を圧倒した結審での弁論

### ■森松原告団代表の陳述。

- ①家族の分断と平穏生活の喪失
- ②「被ばく」を避けたいという切実な願い
- ③被ばく強要という「自己決定権」の侵害
- ④「広報」は真実を教えてくれない
- ⑤裁判官への問いかけ

裁判官の皆さんも人間として想像してほしい。子どもには無駄に被ばくさせたくないと思うのは合理的意志では。

### ⑥絶望を終わらせてほしい

2022年の最高裁の不当判決以降、不当な判決のたびに、私は司法からも「絶望」を与えられています。これ以上、「絶望」を与えないでください。

### ■続いて弁護団から最終弁論（「被告らの責任」「避難の相当性について」「損害論について」）が行われた。

### ■金子弁護団長が「最高裁の判決には説得力はない！大阪地裁 しんがりだからガンバレ」と発言し終了した。

## 9月2日の判決に向けて 「公正な判決を求める署名」を

大阪地方裁判所においては、原告の声に耳を傾け、命と基本的人権を尊重し、公正な判決をお願いします。

【呼びかけ】原発賠償関西訴訟原告団・弁護団・KANSAI サポーターズ

【集約先】〒530-0047 大阪市北区

西天満2丁目8-1 大江ビル 405号

長野総合法律事務所内

原発賠償関西訴訟団あて

FAX 06-6363-3707

\* 第1次集約 2026年  
5月末日とします。

【連絡先】070-5658-9566

オンライン署名は →



## 各地の訴訟団から連帯の報告

大阪地裁の結審には約200人の支援者が参加し、来年の判決に向けて闘いの意義と決意を新たにしました。

**九州訴訟団**からは、24日に予定されていた判決が来年2月4日に延期と報告。**福島なりわい訴訟団**からは来年6月結審との報告。**愛知・岐阜訴訟団、原発東京訴訟団**からは、第2・第3陣が頑張っているとの報告。**千葉訴訟団、原発京都訴訟団**からは6/17八百長判決に抗議し上告と報告。**神奈川訴訟団、兵庫避難者訴訟団、玄海原発訴訟団**も報告。

## ひょうご訴訟結審！3月に判決！

兵庫県に避難した31世帯82人が国と東電に損害賠償を求め12年間闘い続けてきた訴訟が5月30日に結審した。判決は**2026年3月21日**となった。最終審で原告2人が「被爆の恐怖、いわれのない偏見など

苦しみは消えない、どうか国の責任を明確にする判決を」と訴えた。



5/30 兵庫訴訟団



関西・九州の集会(22日)



門前に200人が



原告・弁護団入場



森松原告団長報告



各地の訴訟団から

## 福島原発事故の国家責任を否定した 最高裁判決に抗議の「人間の鎖」(2025/6/16)

福島原発事故での避難者の損害賠償訴訟で、国の責任を否定した2022年の最高裁判決から3年を迎えるのを前に、避難者や支援者らが6月16日、最高裁を取り囲む「人間の鎖」で抗議を行った。全国から約1150人が約1キロにわたって手をつなぎ、「原発事故は国の責任だ」「司法の独立はどこへいった」などのシュプレヒコールを行った。

最高裁は2022年6月17日、「津波対策が講じられていても事故が発生した可能性がある」として国の賠償責任はないとする統一判断を示した。弁護団の話によると、最高裁判決後に高裁で言い渡された11件の判決ではいずれも国の責任を認めなかった。最高裁判決は従来の判例の枠組を無視して、国家責任を否定したもので、極めて不十分であり、再検討すべきだ。



6/17 最高裁包囲

今年は6月15日に最高裁への抗議の「人間の鎖」



# 高市首相は「存立危機事態」発言を取り消すべきだ 中国が怒るからでなく、日本の参戦に反対だから！

## 高市首相の11月7日の衆院予算委での発言

高市首相は衆院予算委員会での立憲民主の岡田議員からの「台湾でどのような場合に『存立危機事態』になるのか」との質問に対して、「中国の海上封鎖→米軍の来援→何らかの武力行使→その時に『存立危機事態』を総合的判断する」と答えた。岡田氏は「それでは政府に非常に幅広い裁量の余地をあたえてしまう。もし『存立危機事態』として日本が武力行使すれば、反撃も受けて極めて厳しい状況になる。それは避けるべきである」と述べた。高石首相は「いろいろなケースが考えられると思いますよ。けれども、それが戦艦を使って、そして武力の行使も伴うものであれば、これはどう考えても『存立危機事態』になり得るケースであると私は考えます」と述べた。

この発言は、中国政府が台湾に対して武力を行使すれば、それは日本にとっての存立危機事態であると高市首相が明言したことになり、中国側は激しく反発し、撤回を強く求めることになった。

## <存立危機事態>とは何か？

「存立危機事態」は、集団的自衛権行使の要件として自衛隊法第76条①項二号に規定されている。

「存立危機事態」は「我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある」

その場合に集団的自衛権を行使できると定めている。

## 今回の高市発言は自衛隊法にも反している

高市首相の「存立危機事態」の解釈は完全に誤っている。自衛隊法に規定された3要件の判断なしに単独で「存立危機事態」とすることは出来ないし、中国の国内問題に軍事的に介入してはならない。発言は根本的誤りとして撤回しなければなりません。国家間の、特に軍事的誤りは誠実に撤回することこそが相互の信頼関係を回復できる。

## 「存立危機事態」発言は日本の問題である

今回の高市発言の問題を、「よく言った」と称賛する勢力もあるが、「ちょっと言い過ぎただけ」で中国が過度に怒っていると中国を批判する動きもある。

高市首相の発言は、①明治時代に中国から奪い植民地としてきた「台湾」に再び出兵するのか？②侵略と戦争は二度としないと誓った日本が海外に派兵するのか？③派兵すれば日本も戦場になるのではないのか？④中国からみれば今回の高市発言は「日本の台湾出兵」の宣言として認識されるのでは？という深刻な問題であることを認識すべきだ。

マスコミの報道や、世論調査ではこの根本問題が抜けて、中国の反応だけが論議されているが、問題は日本の問題である。日本は1937年の盧溝橋事件から18年間の日中戦争で2000万以上の人々を殺戮し、日本兵にも多数の死者がでた。自衛隊の元幹部が、戦争が起これば戦死者を靖国神社に祀りたいと語っている。再び戦争を起こしてはならない。戦争でなく外交で解決すべきである。

## 関西わだつみ会機関紙 『海』 No53 を購読ください

関西わだつみ会の機関紙「海」は、関西を中心に活動する会員の意見交換と活動報告のために年4回発行しています。わだつみ会や反戦平和の行動、反原発行動、そして会員が関与している各種の講演会、集会や行動の案内と報告、また種々の課題についての投稿を掲載しています。ぜひご購読ください。

- 1 高市政権の軍拡と戦争政策反対 11/25 国会前での緊急抗議行動
- 2 2026 戦争予算反対し国民生活を守ろう わだつみ会高市批判声明
- 3 ガザ・パレスチナ連帯の闘い 11/24 沖縄を再び戦場にさせない
- 4 報告 12/7 不戦のつどい：理事長挨拶／講演「近代天皇制と伝統文化」
- 5 報告 講演「近代天皇制と伝統文化」高木博志 12/9 立命館「不戦のつどい」
- 6 報告 10/19 祝園全国集会 全国から 2700 人が参加し闘いの決意
- 7 報告 12/13 南京証言集会 2025 / 祝園全国集会決議文
- 8 報告 11/30 高浜原発全国行動 / 柏崎、泊原発の再稼働を止めろ！
- 9 本の紹介「戦後日本の武器移転史」／「会社は社員を2度殺す」
- 10 投稿「ワークライフバランスの見直し・労働強化を阻止しよう」 田村和男
- 11 山上・安倍射殺事件裁判と旧統一教会—自民党の責任を隠蔽するな
- 12 参政党の躍進をどうとらえるか 資料：「参政党「真ん中」からの反革命」
- 13 資料「高速道路と獣道」／雑誌『世界』と雑誌『地平』の記事紹介
- 14 松岡勲の映画 or 読書案内(12)「黒川の女たち」、「アトム・スティール・ヒア」
- 15 自民党憲法改正草案批判(52)「日本を軍事・スパイ大国に仕上げる 高市内閣糾弾！」
- 16 運動の交流欄 森友集会(10/25)と森友デモ(11/8)、「日の君」強制反対ネット  
「国家神道の現代史」出版記念、兵庫県庁抗議行動／即位・大嘗祭 NEWS  
日中友好討論会(11/23)、神戸朝鮮高校コンサート(12/27)

53号は1月5日に  
発行しました。



購読希望の方は  
連絡ください。  
年4回で  
1000円です  
郵送料含み

## 軍需産業販売増加率、日本が最大 (長周 12/8)

ストックホルム国際平和研究所が2024年度の軍需産業の上位100社の販売額を発表した。日本企業では三菱重工業や川崎重工業、富士通、三菱電機、NEC 等が「登場し、国別の増加率では日本は40%増で世界最大となった。戦争中のロシアが23%、イスラエルが16%、米国4%と比べ突出している。

## 米、台湾に武器 1.7 兆円売却 (朝日 12/19)

トランプ政権は12月17日に台湾に対して、長射程ミサイルや高機動ロケット砲システム「ハイマース」、対戦車ミサイル、自走砲、無人機等の多数の武器売却を承認し、議会に通知した。台湾総統府によると111億ドルで、1度の売却額としては過去最大。

## 米、石油タンカー2隻目拿捕 (神戸 12/22)

米国沿岸警備隊は国防総省の支援を受けて、ベネズエラを出港した石油タンカー(パナマ船籍で香港の会社が所有)を公海上で12月20日に拿捕した。10日にも拿捕しており2隻目である。米国は「タンカーには制裁対象のベネズエラ国営石油会社の石油が積載」と指摘。ベネズエラ政府は「国際的な海賊行為」と非難し、国連安保理への申入れを検討。

## 国産AIの新会社に政府1兆円助成 (神戸 12/22)

政府は国産人工知能の開発に、26年度から5年間で1兆円の支援を行う。来春にはソフトバンクなどが新会社を立ち上げる。とくにロボット用 AI を重視する。

## 所得格差が拡大、過去最大に (朝日 12/24)

厚労省が発表した2023年調査によると、「当初所得」の格差は「ジニ係数」が0.5855で1962年の統計以来最大の格差となった。税金や年金社会保障を加えた「再分配所得」でも0.3825 で前回より拡大した。厚労省によると、高齢化により所得の低い世帯が増えて格差は拡大傾向にあることが反映している。

## 報告 12/26 原発いらナイト in 宝塚 153回



2025年最後の「いらナイト」は9人の参加で、サキソフーン演奏の下で100枚のチラシを配布。寒い中でもよく受け取ってもらえた。

## 報告 12/27 神戸朝鮮高級学校コンサート

朝鮮学校授業料支援を要求して宝塚で始まったコンサートも16回となり、27日にソリオホールで開催された。



会場には約300人が集い、演奏と詩、舞踊を楽しんだ。今なお続く差別の中でも前を見て活動し学ぶ朝鮮高級学校生の姿に感激した。

## 案内 1/6 「戦争あかん！ ロックアクション」



2026年の1回目の御堂筋デモです！  
パレスチナに自由を！軍事化いらん！  
原発いらん！カジノもいらん！  
スパイ防止法けつとばせ

日時：1月6日 午後6時30分～  
場所：新町北公園(オリックス劇場横)

## 案内 1/17 映画会「WARmerica の運命」



戦争中毒に侵された世界一極の覇権国米国の運命は？

「歴史上最も早く衰退する帝国 我々はその没落をリアルタイムで見ている」

日時：1月17日 13:30～16:00  
場所：エルおおさか南館 101 @800 円

## 案内 1/25 どうしたら戦争をなくせるの？ ③

第3回目となる討論集会。毎回盛り上がり続けて！  
今回のテーマは「戦争を止める力」

日時：1月25日 13:15～16:45 参加費：500 円  
場所：阿倍野市民学習センター第一研修室

## 日本戦没学生記念会(わだつみ会)機関誌

## 「わだつみのこえ」No163 を購読ください



購読ご希望の方は  
連絡ください。  
定価1000円  
+送料200円

【特集 2025 平和集会】「抵抗は権利であり義務である」

講演：『伊泰吉』追悼の意義とその闘い

田村光彰

「長射程ミサイルの弾薬庫建設 NO!祝園全国集会に2700人

今市和昭

「ジェノサイドに加担する「死の商人国家」に堕落する日本」

杉原浩司

【わだつみ会連続講座】

第9回講座「近代日本と欧米の徴兵拒否・忌避」

三上真理子

第10回講座「父の遺した椅子—父の靖国合祀取消しの闘い」

松岡 勲

【「わだつみのこえ」の重要論文の再掲載】

講演「戦争が残したもの—死者を国家から取り戻すために—」

田中伸尚

(「わだつみのこえ」NO.101 1995・8.15 集会での講演)

【自著紹介】「わだつみ」の歴史社会学「わだつみ会から見たもの」

那波泰輔

「戦友会狂騒曲(ラプソディ)」

遠藤美幸

【関西わだつみ会報告】／【新会員からの入会メッセージ】